News Release
日本酸素株式会社

２０２６年１１月１０日

大型液体窒素凍結保存容器「WA シリーズ」、液体窒素自動供給システム「レベルマスター CLLC-8」を受注開始

日本酸素株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：永田研二）は、このたび大型液体窒素凍結保存容器の新シリーズ「WA シリーズ」及び液体窒素自動供給システムの新機種「レベルマスター CLLC-8」の販売を開始いたします。「WA シリーズ」は第一弾として、DR-430LM の後継機種となる「WA-430」の受注を開始し、順次ラインアップを拡充します。



大型液体窒素凍結保存容器 WA シリーズ「WA-430」

※上蓋のヒンジ仕様はオプション対応

１．大型液体窒素凍結保存容器「WA-430」の特長

大型液体窒素凍結保存容器「WA-430」は、大量の研究試料を長期・安定保存できます。また、液体窒素の自動供給が可能です。主な特長は以下の通りです。

主な特長

■気相保存/液相保存モデルを共通化

■保守・点検作業に配慮したメンテナンス性の高い設計

■LED を容器内に搭載、視認性を向上

■用途に応じて選択可能な豊富なオプション

- 取り外し型の上蓋をヒンジ型へ変更
- 電子錠によるロック機能
- 上蓋開閉センサーによる作業ログ機能
- その他各種オプション

２．液体窒素自動供給システム「レベルマスター　CLLC-8」の特長

新型レベルマスター「CLLC-8」は、操作性と管理機能を大幅に向上させました。本製品は、「WA-430」の運用システムで、大型液体窒素凍結保存容器大型 DR シリーズ（旧モデル）にも使用が可能です。主な特長は以下の通りです。

主な特長

■タッチパネルを採用
- ・優れた視認性と直感的な操作性を実現
- ・耐寒性手袋を着用したまま操作可能
- ・最大４点の温度表示が可能

■データロギング機能を標準搭載
- ・絞り込み、検索も可能

■警報発生時、画面に対処方法を記載

■液面センサーを新たに開発。精度、信頼性の向上



タッチパネルの画面

３．型式名称・ブランド名に込めた想い

新シリーズ名の「WA」（Worth＆Advanced）は、日本のものづくり精神と先進技術への想いを表現しています。

"W" = Worth（価値：高品質かつ信頼性の高い製品作り）

"A" =Advance（進化：使いやすさを追求した新機能）

"WA" = 和（日本製：国産品質の誇り）

※Web サイト：日本酸素 ｜ 医療・研究者向けサイト

WA SERIES

【会社概要】

日本酸素株式会社

事業内容：酸素・窒素・アルゴン等各種産業ガス、LP ガス、医療用ガス、特殊ガスの製造・販売及び溶断機器・材料、各種ガス関連機器、空気分離装置の製造・販売、電子部品の組立・加工・検査、設備メンテナンス

創業：1910 年 10 月 30 日

設立：2020 年 2 月 4 日

資本金：15 億円

株主：日本酸素ホールディングス株式会社（出資比率 100%）

売上収益：4,265 億円（2026 年 3 月期日本酸素グループ連結）

※2026 年 4 月 1 日付で、社名（商号）を「大陽日酸株式会社」から「日本酸素株式会社」へ変更いたしました。

本件に関するお問い合わせ
日本酸素株式会社
東京都品川区小山 1−3−26
広報部